

前後文の関係と換言を表す接続詞の日中対照研究
— “也就是說”と「つまり」の比較—

Clause Relations and Reformulation Markers

A Contrastive Study of *Yejiushishuo* in Chinese and *Tsumari* in Japanese

龐 龍傑

PANG, Longjie

摘要

This study aims to clarify differences between two reformulation markers, *yejiushishuo* in Chinese and *tsumari* in Japanese, from the perspective of their conjunctive function.

Previous studies on these two reformulation markers give specific and detailed descriptions of the characteristics of these two markers. According to previous studies, these two reformulation markers are both used to signal that the following clause is an interpretation, conclusion, or clarification of the information given in the preceding clause. However, these studies cannot avoid being necessarily narrow in their view and fail to provide a global picture of the two reformulation markers.

Even though these two reformulation markers seemingly share a lot in common, they are found to be fundamentally distinctive from each other. Such difference seems unlikely to be captured by existing approaches. Besides, there appears to be no contrastive study yet found on these two or any other reformulation markers between Japanese and Chinese.

Thus, in this study, I take a contrastive linguistic perspective and compare the context to which these two reformulation markers are applied. In order to do so, I adopt the clause-relational approach (Winter 1994; Hoey 1983) to examine the relations of the clauses connected by these two reformulation markers. This approach, bearing a larger semantic scope, enables us to scrutinize the relations between clauses, connected by reformulation markers, from a broader semantic perspective on the one hand and make it manageable to compare how they differ from each other on the other.

It is found that *yejiushishuo* in Chinese and *tsumari* in Japanese are both used to connect clauses with strong matching compatibility relations. However, *yejiushishuo* in Chinese can only be used to conjoin clauses with strong matching compatibility, while *tsumari* in Japanese is found to be much versatile in combining clauses with weak matching compatibility or even matching incompatibility.

キーワード：換言の接続詞 適合関係 非適合関係 つまり 也就是說

Keywords: reformulation marker, matching compatibility, matching incompatibility, *tsumari*, *yejiushishuo*

1. はじめに

換言の接続詞は、前文の内容に対して後文の内容を用いて言い直すことを示すものである。言い換える際、日中両言語において「つまり」や“也就是说”で前後の文の言い換え関係を示す。(1)に日本語と(2)に中国語の例を挙げる。

(1) Xは三角形である。つまり内角の和は一八〇度である。(山森 1990)

(2) 华姑是武则天的乳名，也就是说，华姑是爹妈起的，是爹妈喊的。

(《中国人盗墓史》CCL)

「華姑は武則天の幼名である。つまり、華姑は親によって名付けられ、呼ばれてきた名である。」(筆者訳)

例(2)が示すように、中国語の“也就是说”と日本語の「つまり」は同じ文脈において対応している。しかし、両者はすべての文脈において対応できるわけではない。次の例では、両者は対応しきれないことが観察される。例(4)は、例(3)を真似た作例である⁽¹⁾。

(3) (なぜ女性は地理に弱いと思っているのか?)

うちの母も妹も、島根県と鳥取県の区別がつかない。つまり、女性は、一般に地理に弱いのだ。(山森 1990)

(4) 我妈和我妹妹都分不清东南西北。*也就是说，女人一般方向感都很差。(筆者作例)

うちの母も妹も東西南北がわからない。つまり、女性は、一般的に方向音痴なのだ。

日中両言語では接続表現に関する対照研究が少なく、特に換言の接続詞については、それぞれに研究されているため、対照的な観点から捉える研究は管見の限り見当たらない。そこで、本稿では、日中両言語において換言を示す接続詞である“也就是说”と「つまり」を取り上げ、前後の文の関係から、両者の換言を示す接続詞としての機能を比較対照することを試みる。

前後の文の関係性を考察する際、節関係 (Clause Relation : Winter 1994 ; Hoey 1983) を分析の枠組みに用い、“也就是说”と「つまり」が現れる文脈の前後関係と換言の接続詞としての機能を具体例により検討する。両者の異同を分析することによって、特に前後の文の意味関係における両者の相違点に注目し、両者の性格の異同を明らかにする。

2. “也就是说”と「つまり」を比較する理由

2. 1. “也就是说”と「つまり」の類似性

2. 1. 1. 両者の対応性

日中両言語における換言を示す接続詞として、日本語では「つまり」「言い換えると」「すなわち」(仁田 2009)などが挙げられ、中国語では“也就是说”“换句话说”“即”(李志君 2014)などが挙げられる。中日大辞典(2010)には、「也就是说:(前の語句を受けて)つまり…でもある」、「换句话说:言葉をかえて言えば、換言すれば」、「即:すなわち…である」と説明されている。このように、日中両言語において換言を示す接続詞を類型的に見れば、“也就是说”と「つまり」は対応するように扱われている。両者の対応性は、次の具体例において観察できる。

(5) Aさんは独身主義である。つまり結婚する気がないんです。(山森 1990)

「A是独身主义者。也就是说，他没有结婚的打算。」(筆者訳)

(6) 孩子不能放任自流，也就是说必须严加管教。(中日辞典 2016)

「子供は自由放任にしてはならない、というのはつまり厳しくしつけなければならないということだ。」

例(5)の「つまり」は、「因果関係による結果を導入する」機能を果たすと述べられている(山森 1990: 85)。この例を中国語に訳すと、前後の文を“也就是说”で接続することになる。例(6)の“也就是说”は、前文の「自由放任にしないこと」と後文の「厳しく躾けること」をイコールで結んでいる。ここの“也就是说”は「つまり」に訳されており、両者が対応することが見られる。

2. 1. 2. 機能的な類似性

換言の接続詞である中国語の“也就是说”と日本語の「つまり」の機能に関しては、先行研究の記述を概ね「解釈」「推論」「明示」という三点でまとめられる。

2. 1. 2. 1. “也就是说”の機能

“也就是说”に関しては、Feng (2010: 205)は、送り手が後続部を用いて先行部に対して解釈を行うことを示し、また後続部が先行部から導き出された結論であることも示せると論述している。“也就是说”の「解釈」という機能について、孙立萍(2015: 58)は、受け手にわかりやすくさせるため、送り手が後続部で解釈を行うと述べている。一方、推論の機能について、王俊仁(2010: 66)では、“也就是说”は先行部を前提にし、後続部で判断・結論を下すことを示すと述べられている。例えば、

(7) 张华是机会主义者，也就是说，他总是在最佳的时间出现在最佳的地点。(Feng 2010)

「張華は日和見主義者である。つまり、彼はいつも最適な時間に最適な場所に現れるのだ。」
(筆者訳)

- (8) 他们起点比我们高,而我们进步,他们也进步。**也就是说**,我们永远赶不上他们。(Feng 2010)
「彼らは私たちより優れているし、私たちが進歩すると同時に彼らも進歩する。つまり、私たちはいつまでも彼らに及ぶことができないのだ。」(筆者訳)

例(7)において、送り手は先行部の「机会主义者(日和見主義者)」という部分に対して、後続部で説明を加えて解釈している。例(8)では送り手が先行部の内容を前提とし、後続部で結論あるいは判断を下している。

また、“也就是说”の「明示」機能は、先行部から伝達される言外の意味を後続部で言い直すことを示すことであると指摘されている(史金生・胡晓萍 2013: 18)。例えば、次の例(9)において、後続部の「失業者」という内容は先行部の「雇用契約書が来なかった」という内容に対する解釈⁽²⁾ではなく、先行部の内容と関連し、先行部が含意した内容を後続部で明示する。

- (9) 看到了九月中,学校里的聘书只是没有送来,周榕就知道这是学校把他解了聘了。**也就是说**,他在这个社会上变成一个失业的人了。(史金生・胡晓萍 2013)
「九月中旬になっても、学校の雇用契約書が送られてこなかったので、周榕は学校が自分を解雇したのだとわかった。つまり、彼は失業者になったということだ。」(筆者訳)

2. 1. 2. 2. 「つまり」の機能

日本語の「つまり」も、同様に「解釈の性格」(石黒 2001)を持ち、送り手が受け手にわかりやすくしてあげるように言い直すことを示すと指摘されている。「つまり」の解釈の性格は次の例(10)において考察できる。

- (10) もともと津軽三味線というのは、猛吹雪の中、一軒一軒家を回って演奏して金品をもらう“門付け”**つまり**放浪芸だったんです。(石黒 2001)

「つまり」の推論の機能に関して、伊藤(2014: 139)は先行部と後続部が「前提」と「判断」という関係で結ばれており、「先行部を前提として後続部で判断を下す」と述べている。これについて、次の例(11)が挙げられている。

- (11) 息子はこれから自分の生活費は自分で稼ぐと宣言した。**つまり**、もう親のスネはかじらないというのだ。(伊藤 2014)

また、「つまり」は「結果を導入する用法」があると言われ、先行部と後続部が因果関係にあることを示す用法も指摘されている（山森 1990 : 86, 92）。例えば、次の例（12）では、食料がないということを先行部で表現し、後続部で餓死という結果を示している。

(12) 食料が尽きてしまった。つまりわれわれはもうじき全員死ぬ。（山森 1990）

「つまり」の明示的な談話機能については、先行命題から複数の含意が読み取られる中、送り手の意図した含意が受け手にうまく読み取られない恐れがある場合、送り手が「つまり」を用いて自分の意思を明示的に伝えるという役割であると述べられている（山森 1990 : 97）。

(13) A1 : 三〇〇円もっている。だから一個七〇円のリンゴは二個買える。

B : 四個ではありませんか？なぜ二個なのですか？

A2 : つまり、うちの家族は全員で二人なのです。（山森 1990）

(14) 彼はどんな仕事にも時間がかかる。つまり要領が悪いのだ。（伊藤 2014）

例(13)のA1では、三百円で買えるりんごの数は一個から四個までという四通りがあるが、三百円でリンゴを二個買えるという推論が受け手に自明でない場合、「つまり」を用いることによってなぜ二個買えるかという送り手の意図する含意を明示的に説明している（山森 1990 : 95）。例(14)においては、伊藤（2014 : 140）が指摘したように、仕事に時間がかかることから、彼は丁寧に仕事をするなど仕事に没頭するような理解もできる中、送り手が自分の意図する含意（「彼は要領が悪い」）を明示的に示している。

以上述べたように、日中両言語において、換言を示す接続詞である“也就是说”と「つまり」は、辞書では対応する接続詞として扱われ、先行研究では「解釈」「明示」「推論」といった機能に関する分析においても高い類似性を持つことがわかる。しかし、次に述べるように、両者は対応しきれない場面も多く観察され、両者に相違点が見られる。

2. 2. “也就是说”と「つまり」の相違性

接続する前後の文の関係から見ると、中国語の“也就是说”と日本語の「つまり」は確かに高い類似性を持ち、お互いに対応する場面が多い。しかし、異なる言語である限り、無論根本的な相違も存在するはずである。例えば、次のような文脈において、両者は対応しきれないことが観察される。

(15) （なぜ女性は地理に弱いと思っているのか？）

うちの母も妹も、島根県と鳥取県の区別がつかない。つまり、女性は、一般に地理に弱

いのだ。(山森 1990)

(16) 我妈和我妹妹都分不清东南西北。*也就是说，女人一般方向感都很差。(再掲)

「うちの母も妹も東西南北がわからない。つまり、女性は、一般的に方向音痴なのだ。」

(17) 頭いい人は色んな人に伝わるように簡単に物事を説明できる。つまり、現代文の教科書に載ってる何を言いたいのかわからない文章の著者は頭悪い。

(https://twitter.com/mochi_tkqc/status/1394573369949917194?s=29)

(18) 聪明的人能简单明了地把事情说清楚使人明白。*也就是说，现代语文教科书上出现的那些晦涩难懂的文章的作者很愚蠢。(筆者訳)

例(16)は、例(15)を真似た作例である。例(18)は、例(17)の中国語訳である。例(15)では、送り手は、女性が地理に弱いと思う理由として、「うちの母も妹も(地理に弱い)」という具体例を挙げる。さらに、相手に送り手が言わんとすることが理解できないことが考えられるため、「つまり」で説明を追加し(山森 1990: 88)、受け手に自分の思考経路を明示している。しかし、例(16)で示したように、例(15)のような文脈には中国語の“也就是说”で前後を接続しにくい。同様に、例(18)で示したように、例(17)のような文脈にも“也就是说”を用いることはできない。

例(15)と(16)のような文脈は「前提」と「判断」として捉えられ、例(17)と(18)のような文脈は後続部が明示的な情報として捉えられる。このように、“也就是说”と「つまり」の違いは、「解釈」「推論」「明示」といった既存の観点から説明しにくく、両者の差異を解明するには新しいアプローチが必要となる。

本研究では、“也就是说”と「つまり」との違いに注目し、換言標識として前後を接続することにおける相違を明らかにする。具体的には、“也就是说”と「つまり」が現れる前後の文の意味関係を考察し、テキストレベルで両者の接続機能の違いを解明することを試みる。さらに、このような違いをもたらす要因を探っていく。

3. 分析の枠組み

本研究は、Winter (1994) と Hoey (1983) によって提唱された節関係 (Clause Relation) という枠組みを用い、より具体的に文と文のマッチング関係 (Matching Relation) という観点から、“也就是说”と「つまり」がそれぞれ現れる前後の文の関係性を考察する。

節関係とは、ある文を解釈する際に、その前後の文に照らして解釈するという認知的なプロセスである (Hoey 1983: 18)。節関係は大きく二つに分類される (Hoey 1983: 19)。一つは「論理的順序関係 (Logical Sequence relations)」であり、もう一つは「マッチング関係 (Matching relations)」である。論理的順序関係とは、時間的な前後関係や、演繹的な推論、因果推論を指

すものである (Winter 1994 : 52)。典型的な例として次の因果関係が挙げられる。

(19) She was here because she was waiting for somebody, or something. (Hoey 1983)

一方、マッチング関係とは、文と文における高度の体系的な反復という特徴と、意味論的な適合関係・非適合関係という特徴を持つ関係を指す (Winter 1994 : 50)。Winter (1977 : 6) は、談話においてマッチングされた前後の文は、類似性か相違性で取り合わせられると述べている。この点に関して、Hoey (1983 : 113) は前後の文は、類似性で組み合わせられた場合、適合関係 (Matching Compatibility) であり、相違性で引き合わせられた場合、非適合関係 (Matching Incompatibility) であると指摘している。後者の非適合関係は対照的な関係 (Matching Contrast) とも呼ばれる。ただし、適合関係と非適合関係は両極端に分かれるものではなく、マッチングには度合いが見られる。

次の例 (20) と (21) はそれぞれ適合関係と非適合関係を示す。

(20) [But they did not sleep well.] Upstairs Fred thumped and bumped and tossed and turned. And downstairs Ted moaned and groaned and crashed and thrashed all over the bed. (Hoey 1983)

(21) Little boys don't play with dolls, girls play with dolls. (Winter 1994)

例 (20) では、先行文脈で Fred も Ted もよく眠れていなかったことが説明され、これに関して二人の就寝形態が類似性で組み合わせられている。例 (21) においては、前後の文は男の子と女の子が比較対象となる。Hoey (1983 : 113) が指摘したように、類似性で組み合わせられた例 (20) は、前後の文が適合関係であり、相違性で引き合わせられた例 (21) は、前後が非適合関係・対照的な関係である。

マッチング関係について、適合関係・非適合関係を判断する際、重要な手がかりとして、Hoey (1983 : 115) では、次の三点が挙げられている。

(i) Do they answer the same question vis-à-vis a previous sentence in the discourse?

談話において前後の文が同じ質問に対する答えとなるか？

(ii) Does the second part answer the broad requests/questions 'Compare/contrast x with y in respect of z' or 'Is what is true of x (not) true of y?' [...]

後続部は「z という点において先行部 x と後続部 y を比較対照するか？」あるいは、「x にとって真であることは y にとっても真 (それとも偽) であるか？」といった幅広い質問に対する答えになるか？

(iii) Can they be connected by the appropriate conjuncts [...]?

適切な接続詞で繋ぐことができるか？

本研究で考察する二つの換言の接続詞は、中国語の“也就是说”は、パラフレーズ的な接続詞（李志君 2014）であり、前後の文が意味論的同等性（Gülich and Kotschi 1983 : 315）で結ばれている。日本語の「つまり」も、前後の内容が同等（市川 1978）であり、意味的・形態的に類似している（石黒 2001 : 35）。したがって、“也就是说”と「つまり」が示す前後の文は、いずれもマッチング関係にあると考えられる。“也就是说”と「つまり」が接続する前後の文は因果関係としてみなせる場合もあるが、山森（1990）と石黒（2001）が指摘するように、このような因果関係は換言関係の枠の中で捉えるべきである。つまり、論理的順序関係ではなく、マッチング関係として捉えるべきである。

マッチング関係という分析の枠組みは、両者が示す前後の文を「被解釈・解釈」や「含意・明示」、「前提・結論」の関係として扱うことより、さらに「適合・非適合」という大きい意味領域で“也就是说”と「つまり」が接続する前後の文の意味的な関係を考察することができる。特に比較対照する際、「被解釈・解釈」「含意・明示」「前提・結論」といった既存の観点からでは“也就是说”と「つまり」の違いを区別できないのに対し、「適合・非適合」のような幅広い観点からであれば、日中両言語の換言を示す接続詞の根本的な相違を見つけ出すことが可能であると考える。これについて、以下に詳しく述べる。

4. “也就是说”と「つまり」の比較

4. 1. 適合関係の接続

4. 1. 1. 適合関係の接続における異同

前述したように、適合関係とは、前後の文に意味的な類似性があり、前後の内容が一致することである。“也就是说”と「つまり」が現れる文脈は、前後の文が適合関係にあることが観察され、「つまり」と“也就是说”は前後の内容の適合性を強調する。

- (22) 国家資格キャリアコンサルタントは、学科試験と実技試験に分かれます。実技試験は、論述試験と面接があります。つまり合格するためには、学科試験と論述試験と面接の3つに合格する必要があるということです。

(<https://twitter.com/careershikaku/status/1410118122288254976?s=21>)

- (23) 科学无国界这句名言，已广泛流传，为社会上所接受。这里的科学是广义的，包括科学技术，也就是说科学技术无国界。（《人民日报》CCL）

「科学に国境がないという名言はすでに広く伝わっており、社会に受け入れられている。ここで言う科学は広義のもので、科学と技術を含む。つまり、科学技術に国境がないと

いうことだ。」(筆者訳)

この二例では具体的に説明された内容が異なるが、先行文脈から後続部への意味的な成り行きにおいて“也就是说”と「つまり」の使い方が類似していることがわかる。例(22)では、先行文脈で国家資格の試験の分類とその下分類についてそれぞれ説明され、後続部で「学科試験と論述試験、面接」という三点をまとめて表している。例(23)でも、同様に先行文脈で「科学が無国境である」ことに「ここで言う科学は科学と技術の両方を含む」ことを加え、後続部で前述の内容を「科学と技術に国境がない」とまとめている。この二例において、前後の内容が一致することで、“也就是说”と「つまり」は前後の文を適合関係で接続することがわかる。

しかし、適合関係にある前後の文であっても、「つまり」と“也就是说”は接続できるケースが異なる場合がある。例えば、「つまり」が用いられる例(24)のような前後関係において、“也就是说”は使用しにくい。

(24) (なぜ女性は地理に弱いと思っているのか?)

うちの母も妹も、島根県と鳥取県の区別がつかない。つまり、女性は、一般に地理に弱いのだ。(再掲)

この例では、意味的に先行部の「うちの母と妹」は後続部の「女性」と対応しており、「二つの県の区別がつかない」は「地理に弱い」と対応している。例(24)の前後とも、「なぜ女性は地理に弱いと思っているのか」(山森 1990)という質問の答えになるため、前後の陳述は一致するとも言える。よって、適合関係・非適合関係の判断基準(Hoey 1983)によれば、例(24)においても「つまり」が接続する前後の文は適合関係にあると考えられる。ただし、このような適合関係は弱いものである。Hoey(1983:158)が指摘するように、適合関係には、非常に強い程度から皆無までの段階性がある。つまり、適合関係の度合いに強弱がある。

また、例(24)において、先行部の「うちの女性」から後続部の「女性一般」への結論には論理的なギャップが感じられても、「つまり」で接続できるのは、「つまり」の「解釈」の性格が関係していると考えられる。例(24)では、「つまり」は、送り手が個人的にこのように前後の関係を見ることを相手に説明する役割を果たす。伊藤(2014)の観点から見れば、「つまり」は先行部を前提とし、後続部で送り手が解釈を加えて判断を下すことを示す。このことは、例(24)に「私が言いたいことは」を挿入できることによって観察される。

(25) (なぜ女性は地理に弱いと思っているのか?)

うちの母も妹も、島根県と鳥取県の区別がつかない。つまり、私が言いたいことは、女性は、一般に地理に弱いのだ。(再掲改)

よって、前後の文の適合関係が弱くても、「つまり」で前後の文を接続することができる。しかし、このような弱い前後の適合関係には、次の例(26)で示すように、中国語の“也就是说”は用いにくい。

(26) 我妈和我妹妹都分不清东南西北。*也就是说，女人一般方向感都很差。(再掲)

「うちの母も妹も東西南北がわからない。つまり、女性は、一般的に方向音痴なのだ。」

その理由は、「うちの母と妹」という個別ケースから「女性全体」への一般化が論理的に合理的でないと感じるためである。例えば、例(26)を次のように書き直せば、論理的な飛躍がなくなり、前後の関係が強まり、“也就是说”の許容度が高くなる。

(27) 我妈和我妹妹都分不清东南西北。也就是说⁽³⁾，我们家的女人方向感都很差。(再掲改)

「うちの母も妹も東西南北がわからない。つまり、我が家の女性は方向音痴なのだ。」

4. 1. 2. 前後文の適合関係の強弱における相違

前述したように、適合関係の度合いに強弱がある。例えば、例(22)と(23)において、前後の内容が一貫することが一目瞭然である場合は強い適合関係である。一方、例(24)と(26)において、前後に意味的・論理的な飛躍がある文は、弱い適合関係にある。

“也就是说”は、「つまり」と同様に、適合関係にある前後の文を接続するが、全ての度合いの適合関係を接続できるわけではない。例(26)で示したように、前後の文に論理的な隔たりがある場合、“也就是说”は用いにくい。しかし、例(27)で示したように、「女性全体」ではなく、「我が家の女性」に書き換えると、前後の意味的な繋がりが強くなり、“也就是说”の許容度は高くなる。“也就是说”は、例(26)での使用不可から例(27)での許容度の上昇への変化から分かるように、前後の文の適合関係を強くすることによって使用が許容される。よって、“也就是说”は、より強い適合関係にある前後の文を接続する傾向が見られる。

一方、「つまり」は、適合関係の強弱の如何に関わらず、前後の文を接続でき、“也就是说”より接続範囲が広いことが言える。例(22)の強い適合関係はもちろん、例(24)において、合理性に欠ける前後の関係も、「つまり」は、送り手の解釈を加えながら、前後に存在する弱い適合関係を取り立てて示すことができる。また、「つまり」が弱い適合関係にある文を接続することは、次の例においても考察できる。

(28) 日曜だしね。私は静かなお家でのんびり過ごしてしまった(つまりダラダラ)。

(<https://twitter.com/yumetoram/status/1393832675954159617?s=21>)

「刚好也是星期天。我今天在家安静悠闲地度过了一天。***也就是说**，浑浑噩噩地度过了一天。」

例(28)では、先行部の「のんびり過ごす」と後続部の「だらだら過ごす」と、緊張感がなくリラックスした点において類似しているが、伝わる意味合い(ポジティブ・ネガティブ)が著しく異なる。このような前後の適合関係が弱い文脈には、中国語の“也就是说”は使用できないのである。

このように、中国語の“也就是说”は強い適合関係にある前後の文しか接続できず、前後の文の結びつきに送り手の解釈が入りにくい。一方、日本語の「つまり」は、伊藤(2014)と石黒(2001)が指摘するように、送り手の解釈を加えて前後の文を結びつけることで、適合関係の強弱を問わず前後を接続することができる。

4. 2. 非適合関係の接続

「つまり」の接続範囲が広いという特徴は、弱い適合関係にある文と文の接続だけでなく、さらに非適合関係にある前後の文を接続できることから観察できる。

4. 2. 1. 「つまり」と非適合関係

先行研究では、換言を表す“也就是说”と「つまり」は、前後の文に意味的な類似性・同等性があると指摘されてきた。従って、これらの換言標識が用いられる前後の文は意味的に「適合関係」にあると理解されるべきだが、実際には「つまり」が繋ぐ前後の文は「非適合関係」であるケースも見られる。例えば、

(29) 頭いい人は色んな人に伝わるように簡単に物事を説明できる。 **つまり**、現代文の教科書に載ってる何を言いたいのか分からない文章の著者は頭悪い。(再掲)

例(29)では、先行部の「頭のいい人」と後続部の「頭の悪い人」が対照的になり、前後は同じことを異なる視点から見ることが強調されている。この例では、「つまり」の代わりに対比を表す「一方」や「逆に」を入れることもできる。例(29)の前後の文の内容を質問に対する回答として見るならば、「頭のいい人はどんな人か」や「どんな人は頭が悪いか」といった異なる質問の答えにはなる。同じ質問の答えになりにくい。上述した Hoey (1983) の判断基準に従えば、この例における前後の文は非適合関係であることがわかる。同様に、次の例(30)からも、「つまり」が対照的になっている前文の「手作り料理」と後文の「加工食品」を接続することが観察できる。

- (30) 子供を守りたいと思うのであれば必ず手作りで料理を作ってください。つまり子供が不健康になる要因の一つが「加工食品」です。

(<https://www.facebook.com/kitigaii/posts/377137363780225>)

「为了孩子的健康，一定要亲手做饭菜给孩子吃。***也就是说**，导致孩子不健康的原因之一是加工食品。」

さらに、「つまり」は、「逆に言えば」と「逆から言えば」のような対比を表す接続表現と共起する例がみられる。

- (31) 私の常識的な日常的言語感覚もまた、「ぜひ」を B 段階の要素だといってすませておくことに違和感がある。「どうか」を C 段階の要素だとした点も同様である。[…]. 国語研究所の副詞資料によれば、「どうか」は、全九十六例のうち八十四例（八十七．五％）が D 段階の依頼形式と共起して用いられており、「ぜひ」も、全百十九例のうち九十三例（七十八．二％）が、C・D 段階の発話時の話し手の、願望・決意・命令・依頼等の叙法形式と共起して用いられているのである。**つまり逆から言えば**、「どうか」を C 段階だとする根拠は、わずか十二．五％の使用例であり、「ぜひ」を B 段階だとするのは、たかだか二十一．八％の使用例をもとにして言っているのだ、ということになる。（『モダリティ』BCCWJ）
- (32) 家にパソコンが 1 台しかなく、私が独り占めしていたのですが、父がパソコン教室に通うようになり、一緒に使うことになりました。IE の履歴や、私が見たサイトなんかを見れないようにする方法ってありますか？[…]あと、アウトLOOKも、私がメインユーザーで他に誰も使っていないので、ユーザーの切り替えで隠すことができません。お願いします。家庭用の WIN は九十八，九十八 SE、ME まではユーザーは一人、**つまり逆に言えば誰でも使えてそれを区別する事ができません**。しかし、プロ用の二千は区別できません。（Yahoo!知恵袋 BCCWJ）

対比を表す接続詞との共起から、「つまり」は、送り手によって非適合関係として捉えられる前後の内容をも接続できる。しかし、次に述べるように、中国語の“也就是说”はこのような言い方はできない（下記例（36）、（37）参照）。

4. 2. 2. “也就是说”と非適合関係

中国語の“也就是说”は、前後が非適合関係である文脈には、例（33）で示すように“也就是说”を用いることが許容されない。

- (33) 聪明的人能简单明了地把事情说清楚使人明白。***也就是说**，现代语文教科书上出现的那些晦涩难懂的文章的作者很愚蠢。(再掲)

「頭いい人は色んな人に伝わるように簡単に物事を説明できる。つまり、現代文の教科書に載ってる何を言いたいのか分からない文章の著者は頭悪い。」

しかし、“也就是说”が用いられる文脈では、前後の文を対照的な関係と捉えることが可能なケースも観察される。例えば、例(34)において、先行部の「自由放任」と後続部の「厳しくしつける」が対照的にみなせる。例(35)で示したように、“也就是说”の代わりに、「相反(逆に)」を入れることができる。

- (34) 孩子不能放任自流，**也就是说**必须严加管教。(再掲)

「子供は自由放任にしてはならない、というのは**つまり**厳しくしつけなければならないということだ。」

- (35) 孩子不能放任自流，**相反**，必须严加管教。(再掲改)

「子供は自由放任にしてはならない、**逆に**、厳しくしつけなければならないということだ。」

しかしながら、例(34)は、前後の文は対照的な関係とみなせても、“也就是说”は前後の文を非適合関係で接続するわけではない。この二例において先行部の「自由放任にしないこと」と後続部の「厳しく躾けること」は意味的にイコールな関係でもある。つまり、前後の内容は、類似し一致するものである。よって、前後の文は、同時に適合関係とみなせる。例(34)では“也就是说”が用いられた場合、前後の文を適合関係で結ばれている。一方、“相反(逆に)”が用いられた例(35)は、前文の「自由放任」と後文の「厳しく躾けること」が対照的に扱われ、非適合関係で結ばれる。適合性も対照性も潜在する前後の文には、送り手が前後の文を適合関係で繋ぐか、非適合関係で結びつけるかは、使われた接続詞の別で観察できる。“也就是说”が例(34)では使えて、例(33)では使えない理由は、例(33)の前後の文に意味的な類似性・一貫性が弱いからだと考えられる。

日本語の「つまり」とは異なり、例(34)のような文脈において、“也就是说”と“相反(逆に)”は一緒に現れにくい。“也就是说”は前後の文の意味的類似性を示し、“相反(逆に)”は前後の文の意味的相違を示すため、この矛盾が両者の共起を許容しないためであると考えられる。

- (36) 孩子不能放任自流，***也就是说**，相反/反过来，必须严加管教。(再掲改)

「子供は自由放任にしてはならない、**つまり**逆に言えば、厳しくしつけなければならな

いということだ。」

(37) 我国（农业人口比例）[…]为 60%以上，要达到世界中等收入国家水平，农业人口必须减少到 30%左右，*也就是说，相反/反过来⁽⁴⁾，要将剩余 30%以上的农业人口转移到非农产业上去。（《人民日报》CCL）

「我が国の農業人口比率は 60%以上ある。世界で中等収入国家レベルに達するには、農業人口を 30%程度に減らさなければならない。つまり、逆説的に考えれば、30%以上の農業人口を非農業産業に移さなければならないということになる。」（筆者訳）

対照的な意味関係を示す接続表現との共起という点においても、“也就是说”と「つまり」の違いが観察される。「つまり」は、適合関係だけでなく、例(29)と(30)で示したように非適合関係にある前後の文を接続することもできるため、「逆に言えば」のような表現との相性が良いと考えられる。一方、“也就是说”は、例(33)で示したように、非適合関係である前後の文に使用できない。例(34)で示したように、前後の文に潜在的に対照的な意味関係があったとしても、“也就是说”が用いられた場合、意味的な類似性しか強調せず、“相反（逆に）”あるいは“反过来说（逆に言えば）”のような表現とは適合しないのである。

5. 接続機能における両者の相違をもたらす要因

“也就是说”と「つまり」は日中両言語において対応する換言の接続詞であるとみなせるが、上述のように、両者が接続する前後の文の意味関係において大きな差異が存在することがわかる。このような差異をもたらす要因は、両者の意味的な構成要素の違いにあると考えられる。

中国語の“也就是说”は、“也（も）”と“就是（まさしく、実に）”、“说（言う）”という三つの意味的な構成要素からなる。特に、“也（も）”は類似性を表す副詞（刘月华 2004 : 242）であり、“就是（まさしく、実に）”は「その他を排除する」「肯定であることを強調する」（吕淑湘 1999 : 319）副詞である。“也就是说”は文法化の度合いが低く、各構成要素の実質的な意味を喪失しておらず、その意味は文字通りに「～もまさしく～を言う」と読み取れる。よって、意味的に“也就是说”で接続する前後の文は、強い関連性・類似性が要求され、強い適合関係でなければならない。換言を表す“也就是说”は、先行研究において指摘されている「解釈」「推論」「明示」といった具体的な機能を果たす場合でも、前後に現れる文に強い適合性という制約がかかっているのである。

一方、日本語の「つまり」は「詰まる」という動詞の連用形であり、その意味は「議論などの結論が出る方向に進む」（新明解国語辞典 2012）という「詰まる」の意味に関係すると推測できる。これに関して、伊藤（2014 : 139）は、「つまり」が接続する前後の文の関係は「前提」と「判断」と述べている。具体的には、「前提部分から連想しうる数ある結論の中から書

き手がある一つだけを選び出し、後続部で示す」(伊藤 2014 : 146) と述べられている。

「つまり」という接続詞には、本来「前提から結論・判断を下す」という意味を有するが、“也就是说”のような類似性や肯定を強調する意味的な要素がなく、前後の文に強い適合関係を要求しないと考えられる。よって、“也就是说”とは異なり、「つまり」は、前後の文において意味的な繋がりが弱くても(例(24)、(28))、さらに対照的な意味関係であっても(例(29)、(30))、前後を接続できる。

加えて、「つまり」は、前後の文に論理的な意味関係はともかく、後の文が換言として持ち出されたのは、送り手が自分なりの解釈(例(24)、(28))や、送り手の視点の変換(例(29)、(30))によることである。つまり、前後の文が換言関係として結びつけられたのは、前後の文に存在する内在的な意味関係よりも、外在的な送り手の主観的な解釈があるからである。例(25)で示したように、「つまり」の後に「私が言いたいことは」のような表現を挿入できることから、「つまり」の表す主観性を読み取ることができる。先行研究で述べられている「つまり」の「解釈」「推論」「明示」といった機能も高度の主観性に関係する。

以上のことから、“也就是说”は、類似性と確実性を強調する“也(も)”と“就是(まさしく、実に)”を含むことで、前後の文に強い適合性を求める。一方、「つまり」は、類似性や肯定を表す意味的な要素がなく、「前提」と「判断」という関係で前後の文を接続する(伊藤 2014)。特に、このような前後の関係付けには送り手が積極的な役割を果たしている。よって、「つまり」は、前後の文の適合性に拘らず、送り手の主観的な見方で幅広い前後関係を換言関係として結びつけることができると考えられる。

6. まとめ

日中両言語において、換言を表す“也就是说”と「つまり」は対応するように扱われ、談話機能に関しても類似性が高い。しかし、適合関係・非適合関係というマッチング関係(Winter 1994 ; Hoey 1983)の観点から、両者が接続する前後の文の関係を考察すると、大きな差異が存在することがわかる。

日本語の「つまり」は、前後の文の意味的な関係が適合であっても非適合であっても接続できる。前後の文が適合関係である場合、適合関係の強弱を問わず、「つまり」を用いることができる。前後の文が強い適合関係である場合(例(22))は、前後の意味的な類似性・一貫性は一目瞭然であるが、前後の文が弱い適合関係である場合(例(24)、(28))は、前後を結びつけるには送り手が介在し解釈を加えることが観察される。一方、前後の文を非適合関係で接続する場合(例(29)、(30))も、「つまり」が用いられ、「逆に言えば」などの接続詞と共起できることが観察される。よって、換言を示す接続詞として、「つまり」は、幅広い前後関係を接続できると言える。

「つまり」に対して、中国語の“也就是说”は、限られた前後関係しか接続できないことが観察される。“也就是说”は、前後が弱い適合関係（例（26）、（28））にある場合、用いられにくいことから、前後が強い適合関係でなければならないことが分かる（例（23）、（27））。前後が非適合関係である場合も、“也就是说”は使用できない（例（30）、（33））。適合関係と非適合関係がいずれも読み取られる文脈（例（34））において、“也就是说”が用いられた場合、前後を適合関係で接続する。“相反・反过来（逆に）”との共起ができないこと（例（36）、（37））は、“也就是说”が非適合関係と合わない裏付けになると考えられる。

本稿は、二つの日中の換言標識の接続機能における相違を対照的に考察した。その結果、日本語の「つまり」は、前後の文が意味的に適合関係・非適合関係を問わず接続できるのに対し、中国語の“也就是说”は強い適合関係にある前後の文しか接続できない。このような違いをもたらした原因は、それぞれの意味的な構成要素に関係していることを指摘した。特に、中国語の“也就是说”は評価性を表す“就是（まさしく）”を含むことで、前後の文の接続に強く影響を与える。そのような意味要素を持たない「つまり」は、柔軟な前後関係を接続することができる。本稿では、両者についての考察はテキストのレベルにとどまるが、評価性の有無という点において今後さらに対人関係のレベルでの両者の相違を考察する必要があると考える。

注

- (1) 日中の文化的事情の違いで理解を妨げることを避けるため、中国語になってもわかりやすいように、例（3）の文脈を（4）のように書き直すことにした。
- (2) 「解釈」という機能は、例（7）で示したように、先行部の「日和見主義者」という用語に対してわかりやすいように説明を加えることである。一方、例（9）では、先行部の「解雇」という言葉はわかりにくいものではない。後続部の「失業者」は、先行部の「解雇」に対する解釈ではなく、「解雇」に含意されるものである。先行部で含意されたものを、意図的に後続部ではっきり示すのは、ここでいう「明示」機能である。
- (3) 例（27）では、接続の観点から、“也就是说”で前後の文を繋ぐことは無理がないが、前後の内容をわざわざ言い換えにする必要がなく、“也就是说”を入れない方が最も自然であるという考え方もある。
- (4) “相反/反过来（逆に）”は、筆者によって加えられたものである。原文は、“也就是说”のみである。

参考文献

- 中日大辞典（2010）第三版 愛知大学中日大辞典編纂所編 大修館書店
 中日辞典（2016）第3版 小学館/北京・商務印書館
 Feng, Guangwu (2010) *A Theory of Conventional Implicature and Pragmatic Markers in Chinese*. UK: Emerald Group Publishing Limited.
 Gülich, E., Th. Kotschi (1983) Les marqueurs de la reformulation paraphrastique. Connecteurs pragmatiques et structure du discours. *Cahiers de Linguistique Française*, 5, pp. 305-351.
 Hoey, Michael (1983) *On the Surface of Discourse*. George Allen & Unwin.

- 石黒圭 (2001) 「換言を表す接続後について—『すなわち』『つまり』『要するに』を中心に—」
『日本語教育』110, pp. 32-41
- 伊藤光史 (2014) 「接続詞分類の上位概念：『したがって』『つまり』『このように』を通した
一考察」『日本語・日本文化研究』24, pp. 136-147
- 李志君 (2014) 〈中外学术语篇中的重述标记比较研究〉《解放军外国语学院学报》第37卷第4
期, pp. 40-50.
- 刘月华 (2004) 《实用现代汉语语法》 商务印书馆出版
- 吕叔湘 (1999) 《现代汉语八百词》 商务印书馆出版
- 仁田義雄 (2009) 『現代日本語文法7』くろしお出版
- 史金生・胡晓萍 (2013) 〈“就是”的话语标记功能及其语法化〉《汉语学习》第4期, pp. 13-20.
- 新明解国語辞典 (2012) 第七版 三省堂
- 孙利萍 (2015) 〈言说类话语标记的语篇功能研究〉《云南师范大学学报》第13卷第5期, pp. 51-
59
- 王俊仁 (2010) 〈現代漢語重述標記語用分析以-「也就是說」與「換句話說」為例-〉 國立台灣
師範大學華語文教學研究所碩士論文
- Winter, E.O. (1994) Clause relations as information structure: two basic text structures in
English. *Advances in Written Text Analysis*. Routledge, pp. 46-68.
- 山森良枝 (1990) 「接続詞の二類型と談話の情報構造-『つまり』と『だから』を手がかりに-」
『日本語学』9-5, pp. 84-101

用例出典

CCL：北京大学中国语言学研究中心 CCL 语料库检索系统（网络版）

BCCWJ：現代日本語書き言葉均衡コーパス

オンラインリソース：

https://twitter.com/mochi_tkqc/status/1394573369949917194?s=29

<https://twitter.com/careershikaku/status/1410118122288254976?s=21>

<https://twitter.com/yumetoram/status/1393832675954159617?s=21>

<https://www.facebook.com/kitigaii/posts/377137363780225>